

# 地球に警告ブザーが鳴っています

今回は少し大きな話になりますが「地球温暖化」という地球規模から環境問題を考えてみたいと思います。

イギリスの天才物理学者ホーキング博士は「このままいけば、人類は1000年以内に災害が地球温暖化のため滅亡する。その後、地球は気温がどんどん上昇し、煮えたぎった硫酸に満ちた金星のようになってしまう」と予測しています。そして「人類が助かる唯一の道はどこか別の惑星に移住することだ」とまで警告しています。

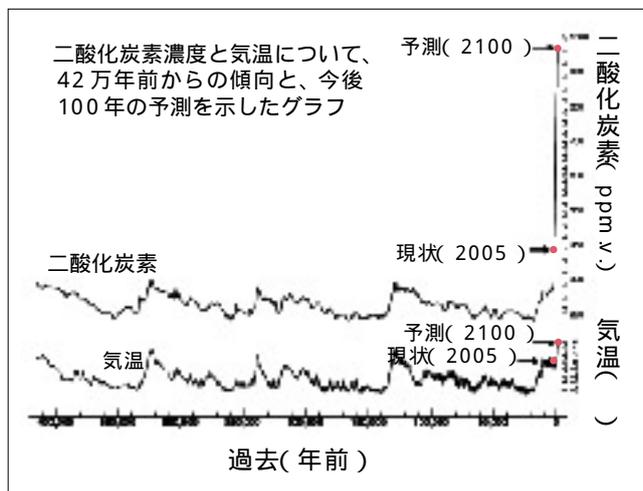
今年ノーベル平和賞を受けた元アメリカ副大統領アル・ゴア氏は「事実上、真の地球の非常事態と言えよう」と指摘しています。私たちもそれが過大な表現ではないことは、肌で感じる暑さや目で見える海面上昇で、強く感じ始めています。

正常な環境を次世代にリレーするために、私たちのライフスタイル(生活の仕方)を少し変えることを急がねばなりません。鳴り響く地球の警告ブザーに、これ以上に無関心でいることは許されません。

地球温暖化は、私たち20世紀に住んだ人間のエネルギー利用が原因で起きたもつとも大きくて深刻な問題です。

アル・ゴア氏はその著書「不都合な真実」(ランダムハウス講談社)の中で、サイエンス誌に載ったグラフに注目しています。それは南極の氷の中に閉じ込められた小さな気泡から、木の年輪を読むように65万年前から今日までの毎年の二酸化炭素の濃度と気温を正確に測定しています。このグラフはこの本の中で最も驚くべきデータですが、このままいけば45年後に地球上の二酸化炭素の濃度は過去最高の2倍にもなってしまいます。右の図のように、それと連動していると思われる気温がどうなるかと予測すると、ホーキング博士の言葉どおしくなりそうです。

過去42万年前からの二酸化炭素濃度と気温のグラフ



出典：環境省「地球温暖化の影響」

地球温暖化が加速しています

## 高松港の最高潮位ランキング

順位	観測値		台風名
	cm	年月日	
1	246	2004.8.30	台風16号
2	201	2004.9.7	台風18号
3	194	1961.9.16	第2室戸台風
4	192	2004.7.31	台風10号
5	187	1991.9.28	台風19号
6	184	1996.8.14	台風12号
7	182	2004.10.20	台風23号
8	181	1978.9.16	台風18号
9	181	1997.9.16	台風19号
10	178	1954.9.26	洞爺丸台風

出典：広報たくま 2005年7月号

次の表は、高松港の最高潮位ベスト10です。1、2、4、7位は平成16年の台風が記録し、日本は堤防の高さ基準を上げ、香川県でもいろいろなところで新しい堤防設置やかさ上げが始まりました。

南太平洋に浮かぶ島国ツバルが海面上昇によつて近い将来沈んでしまうことは他人事ではありません。

## 国内最高気温ランキング

順位	県名	観測値	
		最高気温	年月日
1	岐阜	40.9	2007.8.16
1	埼玉	40.9	2007.8.16
3	山形	40.8	1933.7.25
4	静岡	40.6	1994.8.4
4	和歌山	40.6	1994.8.8
6	山梨	40.4	2004.7.21
6	埼玉	40.4	2007.8.16
8	愛知	40.3	1994.8.5
8	群馬	40.3	1998.7.4
8	群馬	40.3	2007.8.16

出典：平成19年8月17日付け 四国新聞

すでに私たちは、地球が過去に経験したことのない二酸化炭素濃度の世界に入っています。

**温暖化の影響**

日本の最高気温ベスト10(観測所始まって以来の)は次のとおりです。うち4件は昨年の夏です。第3位の1933年の山形40.8度以外は、ここ13年以内に示されたものです。

高松市 堤防改修  
昨年度新たに  
設置されました



詫間港高潮等  
対策整備事業  
(H19、20)  
この駐車の真ん中に  
右よすな堤防が建設  
されま

## 三豊市も急速に温暖化しています

下の**グラフ1**は50年前の昭和30年と昨年の1年間の温度比較です。三豊市周辺では9月は50年前より53度も上昇しています。

同じく下の**グラフ2**は昭和21年から今日までの多度津特別地域気象観測所の平均気温の推移です。

なんと約60年間で12度も上昇しています。「たった12度がどしたん」とは思わないでください。日本の気温は1000年かけて1度上昇したといわれています。それを60年で12度上げてしまったのです。何が起きているか、これだけでもご理解いただけると思いますが。

## 温暖化による犠牲

地球温暖化はすでに人間の生命の犠牲を出し始めています。海外では2003年にヨーロッパを襲った熱波により数万人の死者がでています。日本でも熱中症による死者数は気象庁の調べによると昭和43年から平成17年までの38年間で5,433人にもなり、最も多い年(平成6年)は589人にもなりました。

## 使い捨てから『もったいない』へ

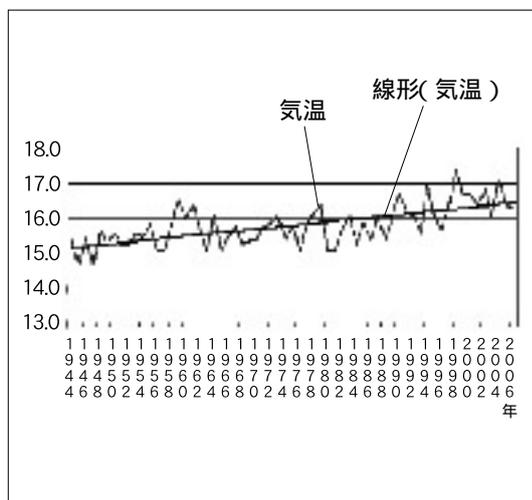
ダイオキシンのときは、あれだけ劇的に取り上げたマスクミも、なぜか地球温暖化に関しては反応が曖昧緩慢です。そしてそのせいか私たちも立ち上がるようになっていません。アル・ゴア氏は著書の最後に「将来を守るため、私たちはもう一度立ち上がらねばならない」と、結んでいます。そろそろ私たちも真剣に行動を起こさなければなりません。このままいけば私たちの孫の世代には、もう相当深刻な気温上昇による暑さになっているに違いありません。国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の報告書では、化石エネルギーを重視しつつ高い経済成長を実現する社会では、最悪のケースとして今世紀末の世界の平均気温は1990年(平成2年)比で4度上昇すると予測しています。これを三豊市周辺に単純にあてはめてみると平成2年の多度津の平均気温16.7度は23.1度となり、これは沖縄県那覇市の昨年の平均気温23.5度とほぼ同じで、三豊市においては今世紀末には亜熱帯と言つべき気温が予想されます。

今の生活様式や考え方を少し変えましょう。つまり

「使い捨て」から「もったいない」への移行です。このあたりを市民みんなで共有して、地域づくりに取り組んでいきましょう。

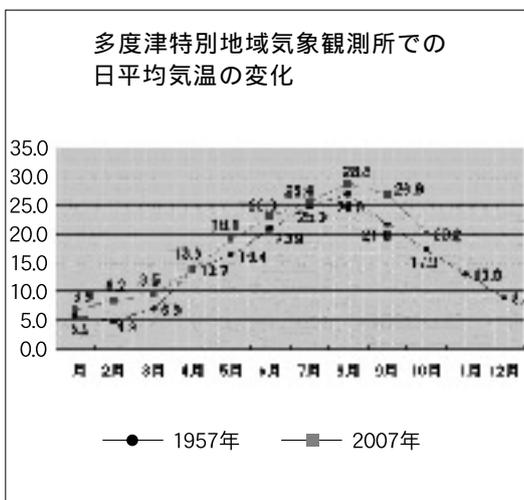
(文責 三豊市長 横山忠始)

グラフ2 三豊市周辺の気温の変化



多度津特別地域気象観測所 より

グラフ1 進む温暖化 50年間の気温の変化



出典:気象庁ホームページ

次回は、「地球温暖化の原因」について取り上げます。